

表2 主な水稻殺菌成分の特性一覧

薬剤系列	耐性菌の報告	有効成分名	商品名(例)	効果の出方	浸透移行	残効	使用方法			効果					
							箱処理	本田散布(粒剤)	本田散布(薬液散布)	本田散布(粉剤)	いもち病	紋枯病	白葉枯病	もみ枯細菌病	穂枯(ごま葉枯病菌)
ストロビルリン系	有	アゾキシストロビン	アミスター	予防的	○	中	○		○		○	○			
		オリサストロビン	嵐、嵐プリンス	予防的	○	長	○	○			○	○			
		メトミノストロビン	イモチエース、オリブライ	予防的	○	中		○			○				
抵抗性誘導	無し	イソチアニル	ルーチン、スタウト	予防的	○	長	○	○			○		○		
		チアジニル	ブイゲット	予防的	○	長	○	○			○		○	○	○
		プロベナゾール	D r. オリゼ、ビルダー	予防的	○	長	○	○			○		○	○	○
メラニン合成阻害(R)	無し	トリシクラゾール	ビーム	予防的	○	中	○		○	○	○				
		ピロキロン	デジタルコラトップ	予防的	○	長	○	○			○				
		フサライド	ラブサイド	予防的	×	中			○	○	○				
ジチオラン系	有	イソプロチオラン	フジワン	治療的(弱)	○	短		○	○	○	○				
ピリミジン系	無し	フェリムゾン	ブラシンやノンブラスの1剤	治療的	×	中			○	○	○				
抗生物質	有	カスガマイシン	カスミン	治療的	○	短		○	○	○	○			○	
有機リン	有	I B P	キタジンP	治療的	○	短		○	○	○	○				

【補足】

- ・メラニン合成阻害(R)：メラニン生成酵素(還元酵素)の働きを邪魔して、いもち病菌が稲に進入する時に必要なメラニンを作らなくさせる。
- ・予防的：病害に感染する前に薬剤を散布して、病原菌の侵入を防ぐ。
- ・治療的：感染後に稲体内にいる病原菌に作用して、病原菌を撲滅する作用。病斑が元にもどるわけではなく、病斑の進展を止める作用。
- ・残効：府県の防除指針などの資料をもとに整理した。
- ・使用方法：それぞれの使用方法に適用がある場合に○を付した。
- ・効果：適用のある病害に○を付した。